



サードパーティ製 SIP 電話の設定

- [サードパーティ SIP エンドポイントの概要 \(1 ページ\)](#)
- [サードパーティ SIP エンドポイントの設定タスク フロー \(2 ページ\)](#)

サードパーティ SIP エンドポイントの概要

Unified Communications Manager では、SIP を実行する Cisco IP Phone に加えて、さまざまなサードパーティ SIP エンドポイントをサポートしています。Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、次のサードパーティ製 SIP エンドポイントを設定できます。

- サードパーティの SIP デバイス (アドバンスド) : この 8 回線の SIP デバイスは、RFC3261 に準拠し、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機です。
- サードパーティの SIP デバイス (ベーシック) : この 1 回線の SIP デバイスは、RFC3261 に準拠し、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機です。このデバイスには 3 つのデバイス ライセンス ユニット (DLU) が必要です。
- Assured Services SIP (AS-SIP) エンドポイントは、MLPP、DSCP、TLS/SRTP、および IPv6 の要件に準拠した SIP エンドポイントです。AS-SIP は、Unified Communications Manager 上で複数のエンドポイントインターフェイスを実現します。
- Generic Desktop Video Endpoint : この SIP デバイスは、ビデオ、セキュリティ、設定可能な信頼、およびシスコの拡張機能をサポートします。このデバイスは 8 回線をサポートします。コールとビジー トリガーの最大数はそれぞれ 4 と 2 です。
- Generic Single Screen Room System : この SIP デバイスは、単一画面のテレプレゼンス (ルーム システム)、ビデオ、セキュリティ、設定可能な信頼、およびシスコの拡張機能をサポートします。このデバイスは 8 回線をサポートします。コールとビジー トリガーの最大数はそれぞれ 4 と 2 です。
- Generic Single Screen Room System : この SIP デバイスは、複数画面のテレプレゼンス (ルーム システム)、ビデオ、セキュリティ、設定可能な信頼、およびシスコの拡張機能をサポートします。このデバイスは 8 回線をサポートします。コールとビジー トリガーの最大数はそれぞれ 4 と 2 です。

サードパーティ SIP エンドポイントの設定タスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ダイジェストユーザの設定 (3 ページ)	<p>ダイジェスト認証を有効にするには、ダイジェストユーザであるエンドユーザを設定します。SIP トランクにチャレンジを開始すると、Cisco Unified Communications Manager は、エンドユーザ構成 ウィンドウで指定した要約証明書を使用して SIP ユーザーエージェントの応答を検証します。</p> <p>サードパーティの sip 電話がサマリー・ユーザーをサポートしていない場合は、ユーザー ID がサードパーティの SIP 電話のディレクトリ番号と一致するユーザーを作成します。たとえば、1000 という名前のエンドユーザを作成し、電話機に 1000 というカタログ番号を作成します。このユーザを電話機に割り当てます。</p>
ステップ 2	SIP プロファイルの設定	SIP トランクに関連付けられている SIP 属性のセットを提供します。
ステップ 3	電話機のセキュリティプロファイルの設定 (4 ページ)	ダイジェスト認証を使用するには、新しい電話セキュリティプロファイルを設定する必要があります。自動登録用に提供されている標準の非セキュア SIP プロファイルの 1 つを使用する場合は、ダイジェスト認証を使用可能にできません。
ステップ 4	サードパーティ SIP エンドポイントの追加 (5 ページ)	サードパーティエンドポイントを設定します。
ステップ 5	エンドユーザへのデバイスの関連付け (6 ページ)	サードパーティのエンドポイントをエンドユーザーに関連付けます。

次のタスク

電源を供給し、ネットワーク接続を検証し、サードパーティの SIP エンドポイントのネットワーク設定を構成します。ネットワーク設定の設定の詳細については、サードパーティ SIP エンドポイントのユーザガイドを参照してください。

ダイジェストユーザの設定

ダイジェストユーザとして、エンドユーザを設定するには、次の手順を実行します。ダイジェスト認証によって、Cisco Unified Communications Manager は接続してくるデバイスが正当なものかどうかを確認できます。確認するとき、デバイスはユーザ名とパスワードに類似したダイジェストクレデンシャルを検証用に Cisco Unified Communications Manager に送ります。送られたクレデンシャルがデータベース内に設定されたそのデバイスに対するクレデンシャルと一致した場合、ダイジェスト認証は成功となり、Cisco Unified Communications Manager によって SIP リクエストが処理されます。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM Administration から、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3 [ユーザ ID (User ID)] を入力します。
- ステップ 4 [姓 (Last Name)] に入力します。
- ステップ 5 [ダイジェストクレデンシャル (Digest Credentials)] を入力します。ダイジェストクレデンシャルは英数文字列です。
- ステップ 6 [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウでその他のフィールドに入力します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

[SIP 電話のセキュア ポートの設定](#)

SIP プロファイルの設定

AS-SIP エンドポイントと SIP トランクの SIP プロファイルを、SIP 設定を使用して設定するには、次の手順を使用します。

始める前に

- [SIP 電話のセキュア ポートの設定](#)
- [サービスの再起動](#)

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration で、[デバイス (Device)]>[デバイスの設定 (Device Settings)]>[SIP プロファイル (SIP Profile)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** プロファイルをコピーする場合は、[コピー (Copy)] 列のファイルアイコンをクリックします。
- ステップ 4** 新しいプロファイルの名前と説明を入力します。
- ステップ 5** IPv6 スタックが構成されていて、2つのスタックを展開する場合は、[ANATを有効化 (Enable ANAT)] チェックボックスをオンにします。
- (注) この設定は、Unity Connection を展開しているかどうかによって適用されます。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次のタスク

[電話機のセキュリティ プロファイルの設定 \(4 ページ\)](#)

電話機のセキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager は、自動登録用の事前に定義された非セキュアなセキュリティプロファイル一式を提供します。電話のセキュリティ機能を有効にするには、新しいセキュリティプロファイルを設定し、それを電話に適用する必要があります。次の手順を実行して、新しいセキュリティプロファイルを設定します。

始める前に

SIP 電話を設定する場合は、次の手順を完了します。

- [SIP 電話のセキュア ポートの設定](#)
- [サービスの再起動](#)
- [SIP プロファイルの設定](#)

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)]>[セキュリティ (Security)]>[電話セキュリティプロファイル (Phone Security Profile)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。

- ステップ 3** [電話のセキュリティプロファイルのタイプ (Phone Security Profile Type)] ドロップダウンリストから[ユニバーサルデバイステンプレート (Universal Device Template)] を選択し、デバイステンプレートを使用してプロビジョニングする際に使用できるプロファイルを作成します。
- (注) 必要に応じて、特定のデバイス モデルのセキュリティ プロファイルを作成することもできます。
- ステップ 4** プロトコルを選択します。
- ステップ 5** [名前 (Name)] フィールドにプロファイルの適切な名前を入力します。
- ステップ 6** TLS シグナリングを使用してデバイスに接続する場合は、[デバイスのセキュリティモード (Device Security Mode)] を [認証済み (Authenticated)] または [暗号化 (Encrypted)] に設定し、[トランスポートタイプ (Transport Type)] を [TLS] に設定します。
- ステップ 7** (任意) 電話でダイジェスト認証を使用する場合は、[OAuth認証の有効化 (Enable OAuth Authentication)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 8** (任意) 暗号化された TFTP を使用する場合は、[TFTP暗号化設定 (TFTP Encrypted Config)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 9** [電話のセキュリティプロファイルの設定 (Phone Security Profile Configuration)] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドとその設定の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 10** [保存 (Save)] をクリックします。

サードパーティ SIP エンドポイントの追加

始める前に

[ダイジェストユーザの設定 \(3 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかの手順を実行します。
- 新しいサードパーティ エンドポイントを作成するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - 既存のサードパーティ エンドポイントを選択するには、[検索 (Find)] をクリックして検索します。
- ステップ 3** [電話タイプ (Phone Type)] ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します。
- [サードパーティ SIP デバイス (基本) (Third-party SIP Device (Basic))]
 - [サードパーティ SIP デバイス (拡張) (Third-party SIP Device (Advanced))]
 - [サードパーティ AS-SIP デバイス (Third-Party AS-SIP Device)]

- [サードパーティ AS-SIP エンドポイント (Third-party AS-SIP Endpoint)]
- [汎用デスクトップ ビデオ エンドポイント (Generic Desktop Video Endpoint)]
- [汎用 1 画面ルーム システム (Generic Single Screen Room System)]
- [汎用複数画面ルーム システム (Generic Multiple Screen Room System)]

ステップ 4 [ダイジェストユーザ (Digest User)] ドロップダウンリストから、作成したユーザを選択します。

ステップ 5 [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 7 サードパーティのエンドポイントの電話番号を設定するには、ウィンドウの左側にある [関連付け情報 (Association Information)] エリアに表示される、[新しい DN を追加 (Add a New DN)] リンクをクリックします。

[電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 [ディレクトリ番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

次のタスク

[エンドユーザへのデバイスの関連付け \(6 ページ\)](#)

エンドユーザへのデバイスの関連付け

サードパーティのエンドポイントにエンドユーザを関連付けるには、この手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration から、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。

ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックして、デバイスに関連付けるユーザを選択します。

ステップ 3 [デバイス情報 (Device Information)] セクションで、[デバイスの関連付け (Device Association)] を選択します。

[ユーザデバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [検索 (Find)] をクリックすると、使用可能なデバイスのリストが表示されます。

ステップ 5 関連付けるデバイスを選択して、[選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] をクリックします。

ステップ 6 [関連リンク (Related Links)] から、[ユーザの設定に戻る (Back to User)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択し、割り当てたデバイスが、[制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインに表示されます。

サードパーティ製品の連携動作と制限事項

サードパーティ製品の制限

表 1: サードパーティ SIP エンドポイントの制限

制限事項	説明
サードパーティ SIP エンドポイントに登録されている Cisco Video Communications Server (VCS) の Ringback トーン制限	Cisco Unified Communications Manager に登録された VCS エンドポイント上で発生する転送を要求するためのブラインド転送やスイッチには、リングバック トーンはありません。コール転送を行う場合は、[保留 (MOH)] で音楽を割り当てますが、ringback 音は割り当てません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。